

公園アスレチック化

6年

ぼくのひいばあちゃんは、113才まで元  
気で生きました。ぼくが3年生の時なりました  
ました。ひいばあちゃんは、とてもよく物事  
を覚えていました。お姉ちゃんが2年生の時  
かけ算九九を教えてくれたそうです。ぼくた  
ち孫の名前も覚えていました。ばあちゃんと  
ひいばあちゃんは、2人でくらしていました。  
なぜ元気で長生きできたのか、考えてみま  
した。きっと、子どものころからよく食べて、  
よく遊んで、よく寝ていたのだと思います。  
ところが、ぼくはよく公園で遊びますが、  
みんなが公園にある遊具を使っているとい  
うこと気が付きました。これでは、体を動か  
かす公園にならなれないと思いました。  
この企画は、一言で言うと、「人が集まり、  
体を動かすために公園をアスレチック化する  
こと」です。

なぜ人が集まることと、体を動かすことを

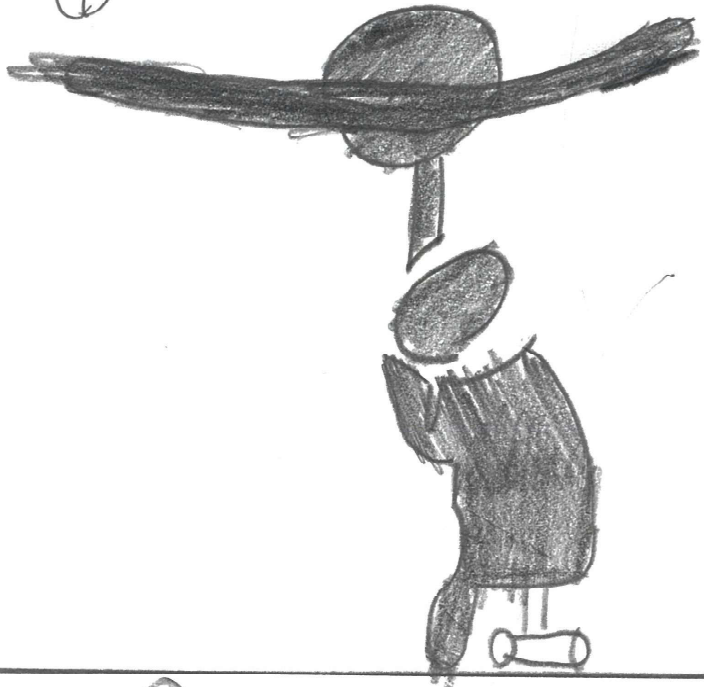
キーワードにしたかということ、ぼくのひいは  
みちの人のように、元気で長生きしてほしい  
からです。人が集まるとコミュニケーション②  
が増え、笑うことが健康につながります。ま  
た、体をよく動かせば、筋肉が付き、ぼくの  
ひいはあちやんみたいは元気にいつまでも動  
けます。

具体的な内容は、鹿児島県の県木は、樟  
の木なので公園に樟の木を植えてまきもこら  
を探します。それで①のイラストのようなア  
スレチックを作ります。そのアスレチックは  
体を動かすために1本の木を橋のようにして  
あたるゾーンを作ります。また、タコゲーム  
たいにタイヤに乗ってロープにぶら下がって  
飛び移る物があります。手足をバランスよく  
することで、動きまわる筋肉を付けることが  
できます。

人を集めるために、イベントを行います。  
例えば、5月は、こいのぼりのうろこに1枚  
ずつ願い事を書いて空を泳がせます。9月は

お年寄りを招いて十五夜の相模大会を観てもら  
 います。12月は<sup>梅の木を</sup>クリスマスツリーに見立  
 ててライトアップして、地域の名物を持参  
 のでダンスパーティーを開きます。1月は、  
 お年寄りといふ、しょに大きなたこにしてみん  
 なであげます。  
 参加できるのは体を動かすことの好きな子  
 供からお年寄りまでたれでも大丈夫です。  
 人が集まることでコミュニケーションが活  
 がり、元気の輪も広がります。④  
 この企画で多くの期待することは、「人が  
 集まり、体を動かすために公園をアスチック  
 化しぼくのひいばあちゃんのように長生きし  
 てほしい」です。  
 人をまわりにきつとたくさんの方が来てく  
 れるはずです。

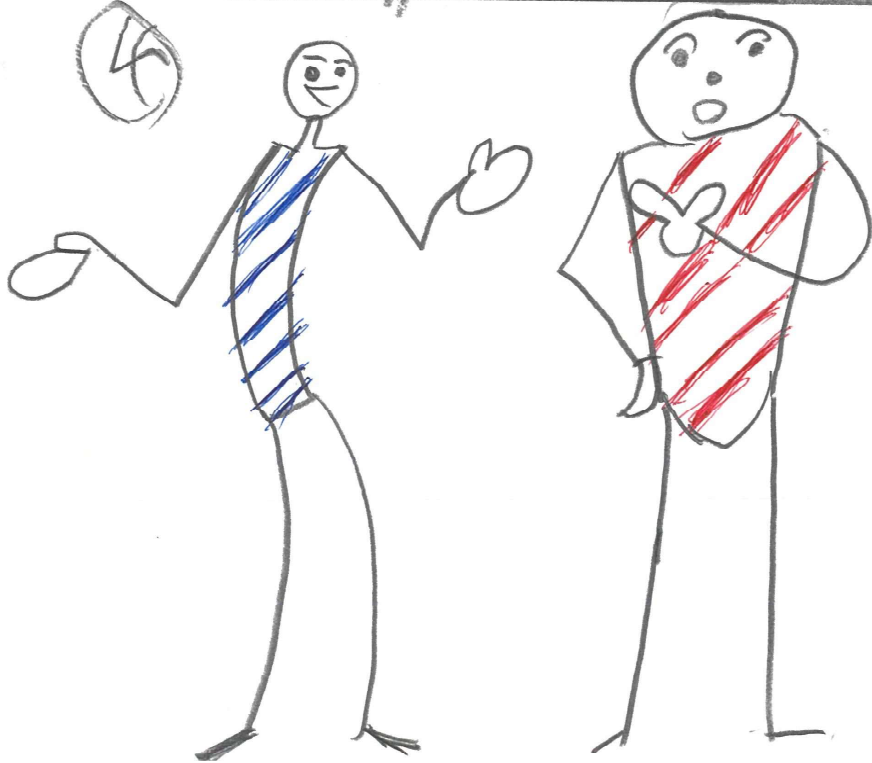
①



③



④



②

